

医療安全管理委員会の現状と未来

原 洋子、毛利真由美

キーワード：To err is human（人は誰でも間違える）；安全で質の高い医療の提供；インシデント・アクシデントレポート

（雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 121-122）

はじめに

医療安全の基本は「To err is human（人は誰でも間違える）」ということにある。同じ間違いを繰り返さない為の対策と、情報の共有が必須である。患者の安全を守り、安心して医療が受けられる環境を整える目的で、当院では平成23年に委員会を立ち上げた。

活動の現状

現在、佐野統轄副院長が委員長をつとめ、診療局、看護部長、総務課、研修を終えた医療安全管理者をはじめ、全部署から選出された職員27名で構成されている。月1回の委員会では、①インシデント・アクシデントレポート事例報告及び再発防止・改善の為の協議、②院内のラウンド活動と報告、③各部署からの報告、④外部の調査機構やインターネット、などからの医療事故報告による注意喚起を行い、再発防止の為の指導や教育、研修など医療安全確保に取り組んでいる（図1）。

医療安全管理部門

また、委員会メンバーの中から12名で構成された医療安全管理部門があり、毎週定例カンファレンスを行っている。インシデント・アクシデントレポート事

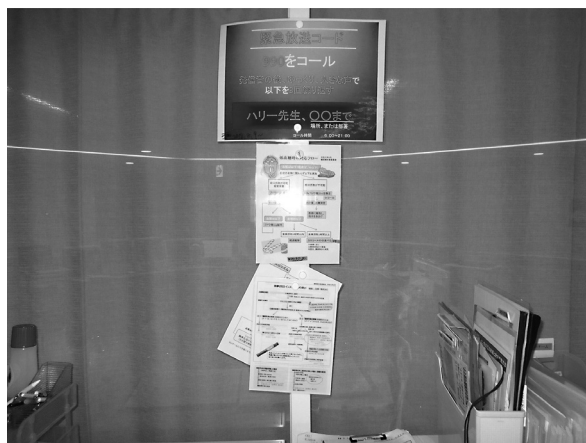


図1 新棟ナースステーション内患者急変、低血糖発覚時などの対応法の掲示

例報告をもとに情報収集や原因分析を行い、立案された対策が適切であり実施されているか、システムに問題はないか、などの検証を重ねてきた。対応が急がれる場合は各方面へ働きかけている。

今後の展望

今後さらなる医療の高度化、専門化に伴い医療事故になり得る要因が増加しつつある。安全で質の高い医療の提供と医療安全文化の構築に努めていきたいと思う。

Present status and future perspective of the committee
for medical safety in Unnan City Hospital.

Yoko Hara, and Mayumi Mori

Committee for medical safety, Department of nursing care, Unnan City Hospital
Correspondence: Yoko Hara, Department of nursing care, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp